

令和元年

日高の交通安全

～ 日高振興局管内交通事故概況 ～



北海道日高振興局保健環境部環境生活課

目 次

■ 交通事故の概要	1
■ 交通事故の主な特徴	1
■ 交通事故発生状況		
1 年別発生状況	2
2 町別発生状況	2
3 月別発生状況	2
4 時間別発生状況	3
5 曜日別発生状況	3
6 第一当事者の法令違反別発生状況	3
7 第一当事者の年齢層別発生状況	4
8 事故類型別発生状況	4
9 事故車種の免許経過年数別発生状況	4
10 道路別発生状況	5
11 道路形状別発生状況	5
12 年齢層別状態別死者数	5
13 飲酒運転を伴う人身事故	5
【トピックス】 飲酒運転根絶に対する取組	6
【参考1】 全道の交通事故発生状況	6
【参考2】 各都道府県の死者数	6

■ 交通事故の概要

令和元年の管内の交通事故発生状況は、前年との比較において、死者数、発生件数、傷者数はともに増加となりました。

- 発生件数： 75件 前年より20件の増加となりました。
- 死者数： 9人 前年より4人の増加となりました。
- 傷者数： 91人 前年より28人の増加となりました。

■ 交通死亡事故の主な特徴

- 発生時期
 - ・ 死亡事故による死者9人のうち、10月、11月に死亡事故4件発生により、5人が亡くなっています。
- 発生時間帯
 - ・ 10時～12時及び16時～18時の夕方の時間帯にそれぞれ3人が亡くなっています。
- 発生曜日帯
 - ・ 水曜日に3人、金曜日に2人、月曜日、火曜日、木曜日、土曜日にそれぞれ1人が亡くなっています。
- 第一当事者 (※1) の状況
 - ・ 法令違反別発生状況は、前方不注意による安全運転義務違反が最も多くなっています。
 - ・ 年齢層別発生状況は、50歳代のドライバーが最も多く死亡事故を起こしています。
- 事故類型別発生状況
 - ・ 横断中によるものが3人で、最も多く亡くなっています。
- 道路別発生状況
 - ・ 国道が5人で、最も多く亡くなっています。
- 年齢層別状態別死者数
 - ・ 65歳以上の高齢者が5人となっており、最も多くなっています。

※1： 第一当事者とは、過失がより重い、又は過失が同程度の場合にあては、被害がより小さい方の当事者を言います。

■ 交通事故発生状況

1 年別発生状況

令和元年は、発生件数、傷者数及び死者数いづれも前年より増加しました。

10年前と比較すると発生件数、傷者数はともに約4割程度まで減少しています。

- 発生件数：75件 前年より20件の増加となりました。
- 死者数：9人 前年より4人の増加となりました。
- 傷者数：91人 前年より28人の増加となりました。

区分	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	前年比
発生件数	174	145	126	120	118	90	85	69	75	55	75	20
死者数	14	3	6	9	8	6	4	6	5	5	9	4
傷者数	201	179	151	169	164	111	96	82	92	63	91	28

2 年別発生状況

4町で発生件数が増加しました。

- 発生件数：浦河町10件、様似町5件、新冠町4件、新ひだか町2件それぞれ増加し、えりも町が1件減少しました。
- 死者数：日高町、新ひだか町、浦河町、様似町で死亡事故が発生しました。
- 傷者数：えりも町を除く6町で増加しました。

区分	日高町	平取町	新冠町	新ひだか町	浦河町	様似町	えりも町	管内計
元年	発生件数	12	3	8	27	17	5	75
	死者数	1	0	0	5	1	2	9
	傷者数	15	5	10	32	22	3	91
30年	発生件数	12	3	4	25	7	0	55
	死者数	0	2	0	2	1	0	5
	傷者数	13	4	5	25	7	0	63
増減数	発生件数	0	0	4	2	10	△1	20
	死者数	1	△2	0	3	0	0	4
	傷者数	2	1	5	7	15	△5	28

3 年別発生状況

死亡事故は、10月及び11月に集中して発生しました。

- 発生件数：9月、10月にそれぞれ9件（12.0%）と最も多くなっています。
- 死者数：10月に3人（33.3%）、11月に2人（22.2%）となっています。
- 傷者数：10月が15人（16.5%）で最も多く、次いで9月の14人（15.4%）となっています。

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	4	6	3	3	7	6	7	7	9	9	6	8	75
死者数	1	1	0	0	1	0	1	0	0	3	2	0	9
傷者数	3	5	6	3	9	7	7	9	14	15	5	8	91

4 時間別発生状況

昼過ぎから夕方にかけて多く発生しています。

- 発生件数：4年連続で16～18時の夕方が最も多く、次いで10～12時に多く発生しています。
- 死者数：10時～12時及び16～18時の時間帯に集中して発生しています。

区分	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	合計
発生件数	0	0	0	3	9	14	12	9	15	7	4	2	75
死者数	0	0	0	2	1	3	0	0	3	0	0	0	9
傷者数	0	0	0	1	13	15	20	11	15	7	7	2	91

5 曜日別発生状況

平日に比較的多く事故が発生しています。

- 発生件数：金曜日が16件（21.3%）で最も多く、次い火曜日が14件（18.7%）となっています。
- 死者数：水曜日に3人（33.3%）、金曜日に2人（22.2%）となっています。

区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	合計
発生件数	9	14	7	12	16	9	8	75
死者数	1	1	3	1	2	1	0	9
傷者数	10	22	6	13	22	9	9	91

6 第一当事者の法令違反別発生状況

安全運転義務違反に起因するものが最も多くなっています。

- 発生件数：前方不注意が25件で最も多くなっています。
- 死者数：前方不注意によるもので7人が死亡しています。

区分	酒酔い	追越し	通行区分	歩行者妨害	最高速度	過労運転	信号無視	一時不停止	交差点安全通行	交差点徐行	左折
発生件数	0	2	1	5	0	1	6	3	4	0	1
死者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
傷者数	0	3	1	5	0	1	7	6	4	0	1

区分	安全運転義務違反									その他の違反	不明	合計
	前方不注意	動静不注視	前左右不確認	ハンドル操作	ブレーキ操作	安全速度	後方不確認	その他	小計			
発生件数	25	5	4	2	3	1	1	3	44	7	1	75
死者数	7	0	0	0	1	0	0	0	8	0	0	9
傷者数	32	5	5	3	3	1	1	3	53	9	1	91

7 第一当事者の年齢層別発生状況

発生件数が40歳代～50歳代のドライバーによるものが最も多く発生しています。高齢者（65歳以上）は18件（24.0%）となっております。

区分	ド ラ イ バ ー												ドライバー以外	合計
	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～以上	小計		
発生件数	1	7	4	8	14	15	6	5	2	7	4	73	2	75
死者数	0	1	0	1	1	2	2	0	1	0	0	8	1	9
傷者数	1	11	4	12	16	16	9	7	1	8	5	90	1	91

8 事故類型別発生状況

車両相互による事故が発生件数全体の64%を占めています。

- 死者数：人対車両の横断中によるものが3人で最も多くなっています。
- 傷者数：車両相互による追突が32件（35.2%）で最も多く、次いで出会い頭14件（15.4%）となっています。

区分	人 対 車 両					自転車対車両	車 両 相 互						
	対面通行中	背面通行中	横断中		小計		正面衝突	追 突		出会い頭	追越し追抜時	すれ違い時	左折時
			横断歩道	その他				通行中	その他				
発生件数	0	1	6	5	12	7	5	5	17	9	3	1	2
死者数	0	0	0	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0
傷者数	0	1	6	3	10	6	6	6	26	14	5	1	4

区分	車 両 相 互				車 両 単 独							踏切	合計
	右折時		その他	小計	工作物衝突			駐車車両衝突	路外逸脱	その他	小計		
	右折直進	その他			電柱	標識	防護柵等						
発生件数	2	0	4	48	1	1	3	2	0	1	8	0	75
死者数	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	4	0	9
傷者数	2	0	4	68	0	1	3	3	0	0	7	0	91

9 事故車種の免許経過年数別発生状況

発生件数の約8割が運転歴10年以上となっています。

区分	有 効 免 許 あ り								無免許等	ドライバー以外		合計
	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	小計		自転車	その他	
発生件数	1	3	0	2	3	5	59	73	0	1	1	75
死者数	0	0	0	0	1	1	6	8	0	1	0	9
傷者数	1	5	0	3	4	4	73	90	0	0	1	91

10 道路別発生状況

多くが国道で発生しています。

- 発生件数：国道が52件（69.3%）で最も多く、自動車専用道路においても2件発生しています。
- 死者数：国道で5人が最も多く亡くなっています。

区分	国道	道道	町道	指定自専道	その他	合計
発生件数	52	6	14	2	1	75
死者数	5	1	2	1	0	9
傷者数	65	5	17	3	1	91

11 道路形状別発生状況

事故は市街地での交差点で最も多く発生しています。

区分	市街地					非市街地					合計
	交差点	単路			その他	交差点	単路			その他	
		トンネル	カーブ	その他			トンネル	カーブ	その他		
発生件数	21	0	1	16	1	13	1	8	14	0	75
死者数	1	0	0	4	0	0	1	3	0	0	9
傷者数	29	0	1	18	1	16	1	9	16	0	91

12 年齢層別状態別死者数

65歳以上の高齢者が5人で最も多く、状態別では、四輪乗車中、歩行中がそれぞれ3人となっています。

区分	若年者		25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者					合計
	19歳未満	20~24歳						65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	小計	
四輪乗車中	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	3
二輪乗車中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特殊車乗車中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自転車乗車中	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
歩行中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	3
電車汽車軽車両等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
合計	1	0	0	0	1	2	0	0	1	2	2	5	9

13 飲酒運転を伴う人身事故

管内の飲酒運転を伴う人身事故は、ありません。

区分	令和元年	平成30年	増減数
発生件数	0	1	△1
死者数	0	0	0
傷者数	0	1	△1

【トピックス】 飲酒運転根絶に対する取組

道では、平成26年7月13日に小樽市で海水浴場帰りの女性4人がひき逃げされ、3人の尊い命が奪われる事故が、また、平成27年6月6日には砂川市で一家5人が死傷する事故が発生しており、相次ぐ死亡事故の原因となっている飲酒運転が後を絶たないことから、平成27年に「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」を制定し、小樽市の事故が発生した7月13日が「飲酒運転の根絶の日」に定められました。

日高振興局では、道内初めての取組として、平成30年11月から管内各警察署・各町と連携して、飲酒運転根絶をより一層推進するため、「飲酒運転根絶宣言事業者等登録制度」を開始し、飲食店や事業者に呼びかけ実施してきました。

令和元年12月末現在の登録状況は以下のとおりです。

区分	日高町	平取町	新冠町	新ひだか町	浦河町	様似町	えりも町	管内計
飲食店	20	22	9	46	30	10	12	149
事業者	23	13	11	75	29	24	25	200
合計	43	35	20	121	59	34	37	349

※ 登録区分として、「飲酒運転根絶宣言の店（飲食店）」と「飲酒運転根絶宣言事業者（事業者）」があります。

【参考1】 全道の交通事故発生件数

区分	令和元年	平成30年	増減数
発生件数	9,595	9,931	△ 336
死者数	152	141	11
傷者数	11,046	11,494	△ 448

【参考2】 各都道府県の死者数

区分	1	2	3	4	5	全国
都道府県名	千葉県	愛知県	北海道	兵庫県	東京都	
死者数	172	156	152	138	133	3,215
傷者数	△ 14	△ 33	△ 11	△ 14	△ 10	△ 317



「飲酒運転をしない、させない、許さない」

令和2年2月

北海道日高振興局保健環境部環境生活課
 〒057-8588 北海道浦河郡浦河町栄丘東通56号
 TEL 0146-22-9255
 FAX 0146-22-7516